



次期学習指導要領に向けて

出典：「令和7年7月28日 中央教育審議会 教育課程企画特別部会資料2」

子供のより主体的な社会参画に関わる教育の充実 －改善の方向性と具体的論点 ②－

＜取組を推進する方策の充実＞

1 教師の負担への配慮等

- 児童・生徒の意見を活かした学校運営やルールの形成等の取組を円滑かつ豊かなものにできるよう、クラウドツールの活用方法を含め、意見表明を過度な負担なく学校の様々な活動や運営につなげる好事例等を整理・提供
- 児童・生徒の参画や意見を活かした学校運営、授業づくりに関する指導上の工夫等について、学校管理職や教師等に対する研修の充実



2 子供の意見を反映させる受け皿の整備

- 子供が学校生活での気付きや悩みをクラウドで寄せることができる仕組みなど、学校運営の包摂性を高める取組の一環として、教師の過度な負担なく児童・生徒の声を聞く取組を促進
- 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)において、子供の社会参画を促す方策を検討
 - 子供の社会参画や意見表明の推進を議題に
 - 子供自身が学校運営協議会に参画
- 学校評価において、学校運営の評価・改善プロセスに子供が関わるることについて、子供の社会参画に関わる教育内容と関連付けることを促すことを検討
- 教育振興基本計画や教育大綱の策定をはじめとする地方公共団体での議論において、子供の意見表明の機会を設ける等、学校を超えて子供の社会参画を促すことを検討

最初の一步と最後の一步が大事

たとえ ^{やま} 山 ^{つく} を ^{ごと} 為 ^{いま} る ^な が ^{いっき} 如 ^や し。未 ^わ だ ^や 成 ^や ら ^や ざ ^や る ^や こ ^や と ^や 一 ^や 簣 ^や な ^や る ^や も、止 ^や む ^や は ^や 吾 ^や が ^や 止 ^や む ^や な ^や り。

たとえ ^ち 地 ^{たい} を ^{ごと} 平 ^{いっき} ら ^{くつがえ} か ^{いえど} に ^{すす} す ^わ る ^や が ^ゆ 如 ^や し。一 ^や 簣 ^や を ^や 覆 ^や す ^や と ^や 雖 ^や も、進 ^や む ^や は ^や 吾 ^や が ^や 往 ^や く ^や な ^や り。

(訳) たとえば山を作るようなものだ。あと一杯の土で完成するところまできていて、やめてしまうのは自分に責任がある。たとえば地面を平らにするようなものだ。まず一杯の土をひっくり返してくぼみを埋めただけでも、それを進めたのは自分なのである。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）